

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

国語の長文問題は、
著作権の関係により公開できません。

問四、
I、II に入ることはばとしてもっとも適当なものを、次の1～4からそれぞれ選びなさい。ただし、同じものを二度使ってはけません。

I ……解答番号5、II ……解答番号6

- 1、悪用 2、重用 3、兼用 4、転用

問五、
傍線部(B)「そういう流れ」とあるが、どんな流れか。その説明としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号7】

- 1、美を求める意志と、それを実践・具体化する技能とが分離し、次第に後者が重視されるようになつてくる流れ。
2、文化を牽引する主体が貴族から武士へと変容し、阿弥衆が新たな文化の担い手として表舞台に登場してくる流れ。
3、美を具体化できる能力は地位や生まれではなく、個人の能力や特別な修練によるという考えが一般化してくる流れ。
4、文化的エリートのみが実践できるパフォーマンスとして存在していた美の世界が崩壊し、阿弥衆が台頭してくる流れ。

問六、
傍線部(C)「ひと味異なる才能」とはどんな才能か。もっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号8】

- 1、職人気質で個性の強い阿弥衆たちをしつかりと束ねて、集団を統率する才能。
2、美的なものを作り出すのみならず、それを効果的に演出、デザインする才能。
3、しつらいを重視した室町という時代にふさわしい純粹芸術を産み出すような才能。
4、権力者に従属することなく、自分の思うままに美を顕現できるような才能。

問七、
傍線部(D)「才能で生きるといふことは「固有名詞」として社会に立つといふこと」とあるが、それはどのようなことを言っているのか。もっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号9】

- 1、ここでの才能とは固有の能力を意味し、それに支払われる報酬で生きるとはそのままその人の社会的な存在証明となつていくこと。
2、それまで芸術家集団だった阿弥衆が、室町時代に入ると各構成員が個性を強めたため、権力者たちは個人を指名するようになったこと。
3、美を差し出してその報酬で生きるといふことは、才能で生きるといふことに他ならない。その才能はそれぞれ個性的でまちまちだということ。
4、室町文化のクライアントは阿弥衆が有するそれぞれの個性に値を付け、阿弥衆はその価値として美を顕現させる義務を負つていくこと。

(原研哉『日本のデザイン・美意識が作る未来』岩波書店より 一部改)

問一、
傍線部①～⑤の漢字について、正しい読みをひらがなで書きなさい。

【記述式解答】

- ① 欲(する) ② 位相
④ 培(われて) ⑤ 顕現 ③ 差配

問二、
傍線部(A)「拙張子」とあるが、ここではどのような意味として用いられているか。もっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号1】

- 1、僧侶集団 2、名称符号
3、接続機能 4、識別記号

問三、
《i》《ii》《iii》に入ることはばとしてもっとも適当なものを、次の1～4からそれぞれ選びなさい。ただし、同じものを二度使ってはけません。

I 《i》……解答番号2、II 《ii》……解答番号3、III 《iii》……解答番号4

- 1、つまり 2、しかし
3、さながら 4、おのずと

問八、傍線部(E)「感覚資源」のここでの意味としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。【解答番号10】

- 1、純粹な芸術とは異なる文化諸般のアクティビティを担っているという誇りと尊厳。
- 2、美的なオブジェクトを生み出すだけではなく、組み合わせ、制御し活用する才能。
- 3、美を求める者、つくり出す者、見立てる者、調達する者の地位や立場、相互の関係。
- 4、不断に美的なものと同接、交換することを介して磨き上げられた培われた美意識や文化。

問九、Ⅲに入ることはとっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。

- 1、口車
- 2、火車
- 3、力車
- 4、横車

【解答番号11】

問十、Ⅳに入ることはとっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。

- 1、美意識の交換
- 2、文化的エリート
- 3、美のしつらい
- 4、時代感覚

【解答番号12】

問十一、現代のデザイナーがネクタイをしない理由の根底にどのような意識があると筆者は考えているか。もっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。【解答番号13】

- 1、阿弥衆の未商として美を顕現させる職能に携わっているという伝統意識。
- 2、純粹な芸術とは異なる文化諸般のアクティビティを担っているという自覚と誇り。
- 3、まっとうな生業から逸脱した存在という位置と自己の才能への無自覚的な感覚。
- 4、クライアントへの従属と拒否が入り交じった微妙な感情と普段の葛藤。

二、14〜16は《 》内の語句を用いて作った短文である。意味の上でも用法の上でもっとも適切に使われているものを、それぞれ1〜4から選びなさい。【解答番号14〜16】

14 《 一部始終 》

- 1、大通りで起こったびっくり事件の様子は、その一部始終が防犯カメラに撮影されていた。
- 2、私たちが普段使っている脳の機能は、全体の中のほんの一部始終だけだ。
- 3、文化祭で使う看板を、休憩なしに一部始終して作成したので、予定より早く仕上がった。
- 4、電車に乗ってきた学生たちは、乗ってから降りるまで一部始終しゃべり続けていた。

15 《 優柔不断 》

- 1、山頂の展望台は見晴らしがよく、優柔不断に続く美しい海岸線が一望できる。
- 2、あの人は誰に対しても優柔不断で、声を荒げたり人と争ったりするのを見ることがない。
- 3、私は優柔不断な性格で、洋服ひとつ買うにもあれこれ迷ってしまい決められない。
- 4、一つのやり方に決めずに、自由な発想で優柔不断にいろいろな方法を試してみるべきだ。

16 《 意気揚々 》

- 1、格下のプレーヤーに一回戦で負けてしまったプロテニス選手は、意気揚々としてしまった。
- 2、新型の飛行機が意気揚々と飛行する姿を撮ろうと、多くの航空ファンが集まった。
- 3、一流企業に就職が決まった彼の前には、意気揚々たる未来が待っているはずだ。
- 4、横綱に初めて勝った力士は、胸を張り意気揚々と観客の前を通り過ぎて行った。

三、17〜20の《 》の対義語としてもっとも適当なものを、それぞれ1〜4から選びなさい。【解答番号17〜20】

17 《 偶然 》 1、蓋然 2、俄然 3、必然 4、毅然

18 《 未知 》 1、無知 2、周知 3、衆知 4、既知

19 《 多弁 》 1、無言 2、無口 3、黙秘 4、沈黙

20 《 協力 》 1、妨害 2、阻害 3、防御 4、障壁

四、21〜23の《 》内のカタカナを漢字にしなさい。【記述式解答】

21 遅刻した理由を《キツモン》する。

22 彼は《シンミヨウ》な顔をして控えている。

23 《ジョウタン》にもほどがある。